

記念すべく第一回目の社長からの手紙です。

共に働く仲間も増え気が付けば、100名以上の大きな組織に成長しました。

日頃から一生懸命働く、皆のお陰で今があると思う本当にありがとうございます。

さて「社長からの手紙」と題したけれど、第一回目は「夢」について書いてみようと思う。

今から9年前の2006年8月に「夢」を抱き、火の魂カンパニーの原点である麵屋穂華を下野市に立ち上げた。そんな僕の創業時からの「夢」とは、「日本中に夢を与えられる男になる」、「本気の仲間を作り一生挑戦し続けて生きる」この二つが僕の夢でした。

何故これを夢にしたかという、それは単純に僕自身が夢もなく、仲間もいなかったから。

僕は20歳からの10年間、仕事もしないで多くの人に迷惑を沢山かけて生きてきた。

他人と比較して、自分に自信が無く、過去を後悔ばかりしているような人間だった。

今振り返ると、人生が変わる切欠は沢山あるけど、自分自身の人生を本気で良くしようと思わない限り、自分の人生は変わらない。【自分で変える以外に変わらない】と今だから自信持って言えるし、【自分の人生を自らの意思で変えてきた】と言い切れる。

つまり、何が伝えたいかという、自分の人生を良くするのも、悪くするのも、全ては自分次第だし、人生を良くする為に、何事にも前向きに物事を捉え、学ぶ気持ちを忘れず、こころ素直に生きていれば、誰だって今より必ず良くなれるし、幸せにだってなれる。

その為に、大事な事が一つある。それは、自分にとっての「良い人生とは？」や、自分にとって「幸せとは？」が、何なのかを明確にする必要がある。僕もそうだったけど、「幸せになりたい、良い人生にしたい」って思っているだけで、実際に「何が幸せで、何が良い人生なのか？」が分かっていない事が多い。まだ自分の「幸せ」や「理想の人生」、そして「夢」が見つかっていないなら、昔の僕のように【夢を見つけて良い人生にする事が自分の夢】そんなのも良いかもしれないね。改めて皆の「夢」は何ですか？

一度きりの人生だし、二度とない大切な人生だからこそ、思いっきり楽しい方が良い。

【夢を持つと人は輝く】目を輝かせて夢を追いながらワクワクした人生の方がもっと良い。

火の魂カンパニーは、皆の夢が見つかり、夢が叫ぶ会社にする、それが僕の【夢】です。